

総合的な学習の時間の実践

札幌市

総合的な学習
4年

赤ちゃんとふれあい、大切に育った自分に気づく

子育て支援総合センターへ行こう

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>
この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

学校と同じ建物内にある子育て支援総合センターは、0才から就学前の乳幼児とその親が集まる施設です。赤ちゃんやお母さんとかかわりやセンターについての調査から、自分たちにできることを考え行動する活動をしました。両親や自分自身について考えられる子どもたちにしたかったのです。

学習活動の流れ（ 時間）

子育て支援センターへ何度か訪問することで、赤ちゃんや遊ぶことの楽しさや難しさを実感しました。ボランティアさんに出会い、たくさんの人でセンターを支えていることに気づきました。

休み時間に赤ちゃんやふれあいながら、施設について詳しく調べました。「子育て支援」の意味が理解できました。

肩たたきサービスの子どもは、自分のお母さんにもしてあげて、学習が生活に還りました。

- ・子育て支援総合センターって知ってる？
- ・学校の1階にある施設だよ

子育て支援総合センターで赤ちゃんやふれあおう！

《うまかった》 《うまくなかった》

- ・もっと赤ちゃんやふれあおう
- ・ボランティアさんがいたよ
- ・これからは休み時間にもふれあおう

子育て支援総合センターってどんな施設だろう

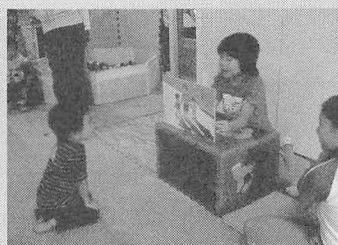
- ・お母さんにきこう ・資料で調べよう ・先生に聞こう
- ・ボランティアさんはどんなことをしているのだろう
- ・子育て支援センターは赤ちゃんだけでなく、お母さんのための施設でもあるんだね！

センター利用者のために自分たちができることは？

《赤ちゃんに》 《お母さんに》

- ・紙芝居、人形劇、人形プレゼント、肩たたき
- ・これからもセンターの方に自分からかかわろう
- ・自分も大切に育てられてきたんだ
- ・自分の親にも感謝しよう

札幌の中心部にある小学校実践です。ここは、小学校、保育園、ミニ児童会館、そして、子育て支援総合センターの複合施設になっていて、子どもたちも小さな子どもを目にすることが多くあります。



静かにみてくれました

教材・活動の Point!

1. 目的をはっきりさせ、繰り返し活動する

同じ建物内にあるので、繰り返し子育て支援総合センターに訪問することが可能です。休み時間にも訪問できたので、センターをより身近に感じることができました。授業で訪問するときには、何のための訪問なのか、そのねらいをはっきりさせながら、活動するようにころがけました。

- ・赤ちゃんとのふれあいをメインにした訪問
- ・施設について情報を収集する訪問
- ・自分たちにできることを行動にうつす訪問

子どもたちの訪問後の振り返りでも訪問のねらいに立ち返りながら考える姿が見られました。

2. 人とのふれあいから学ぶ

子育て支援総合センターにはたくさんの人がかかわっています。赤ちゃん、保護者、センターの職員、ボランティア、そして自分たち小学生。

「なぜ、小学校とセンターが同じ建物にあるのかな？」ある子の素朴な疑問でした。その子を見付けた答えは「いろんな人たちがかかわることで、お互い



にいいことがあるから」です。お母さんたちにとっては、自分たち小学生の姿を見ることも子育ての支えにつながることに気付くことができました。そして、自分たちも普段から積極的にかかわっていこうと決意したのです。